

岐阜県 中小企業情報

2010 2011
12・1

VOL.610

発行：2011年1月25日



社会長新春インタビュー

目次

社会長の新春インタビュー	2
中央会の動き	3~5
組合等の動き	6
東濃支所だより／青年中央会通信	7
12月の景況レポート	8~9
会員組合紹介	10
専門家's EYE	11
先進組合事例	12
事務局だより	13
年賀広告	14~18

[発行所]

岐阜県中小企業団体中央会

岐阜市数田南5丁目14番53号 岐阜県民ふれあい会館 8階
TEL 058-277-1100(代) FAX 058-273-3930
URL <http://www.chuokai-gifu.or.jp>



会長新春インタビュー

平成23年、明けましておめでとうございます。年頭にあたり会員の皆様方に謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

さて、昨年は、リーマンショックによる景気の悪化はやや持ち直しの動きがみられましたが、8月以降の急激な円高により、景気回復を牽引してきた輸出関連産業の大きな痛手となり、一層先行きに不透明感を漂わせた年となりました。

こうした中で、中小企業が新たな発展を遂げるためには個々の中小企業が自ら経営革新を図り、環境変化に対応していくことが必要であります。一方、個々では解決できない諸問題、経営資源の相互補完、経営基盤の強化や新事業展開などに組合等の中小企業連携組織の活用が有効であり、また、その果たす役割はますます大きくなっております。

今年も中央会は、皆様方の期待に応えるため、中小企業連携組織の専門機関として、会員の皆様と共に手を取り合って皆様方の活動やチャレンジを応援していく所存です。ご支援方よろしく願い申し上げます。

「組合のニーズに応えるパートナー・中央会」～一歩踏み込んだ戦略支援へ～ 立ちあがろう中小企業、日本のために を提言

辻 正中央会会長に聞く

■昨年を振り返って

平成22年は混迷する政治の中で、経済ではリーマンショック以後の経済危機から、昨年8月以降の急激な円高の影響、また、マーケットは縮小し、この中で安値競争の激化など先行き不透明で、日本が沈没してしまうのではないかと考えるくらい不安を感じた1年であった。一方で、今年、私が組合へ訪問し、組合の理事長さん方のお話を伺う組合訪問を再開した。中央会の会長として平成18年から3年間続けてきた組合訪問は100組合であるが、これを今後も続けるものである。

この厳しい状況の中で、組合訪問を通じて感じたことは、どの組合も色々な知恵を出し合い、活路を拓いているということ。追い込まれた末に生まれた知恵によって新たな活路を拓き頑張っておられる。この訪問は私自身も大変勉強になっており、また、岐阜県の中小企業の強さを感じている。

中央会では、ものづくり中小企業製品開発等支援事業の申請窓口業務を行った。岐阜県はモノづくりが盛んな県であり、全国的に見ても申請件数は多く、一次募集の採択は60件。二次採択は20件、22年の三次募集では3件が採択され、総額で約18億円の支援が受けられた。他にも専門的・戦略的支援を実施するため、重点的計画巡回指導等の実施や、中小企業の相談に応じる中小企業応援センターの設置、農商工連携に取り組む人的基盤を形成すべく研修会を開催するなど、様々な角度から支援を行った。

■今年の見通し

今年も昨年同様に厳しい経済状況が続くと考えているが、少子高齢化が続き、マーケットが縮小し、商売の縮小が考えられる中で、海外に目を向けることは必要になってくる。昨年、APEC中小企業大臣会合が岐阜県で開催された。この会議でわかったことは参加国の企業も苦しんでいる。岐阜県は中小企業県であり、21カ国のスモールビジネス同士が提携しお互い成長していくことが必要ではないかと考える。また、そのような支援を中央会が行いながら中小企業の道を拓いて

いけたらいいと思う。APEC中小企業大臣会合を機にますます海外展開が進むのではないかと考えている。

■中央会の活動と方針

中小企業の海外展開は、海外展開している自社の取引先などへまず相談することが必要と考える。その後の支援は、ジェトロ、銀行などに相談にのってもらおう。今後、中央会会長として自社が海外展開した経験なども伝えていきたい。また、中央会では、海外展開、海外の中小企業との提携支援という新しい任務が加わったため、昨年「国際チーム」を設置した。日本貿易振興機構（JETRO）岐阜貿易情報センターと提携も行いながらこの海外展開の支援も充実させていきたい。

APEC中小企業大臣会合がきっかけで、韓国を訪問し中小企業庁長官と懇談することとなった。

昨年11月に「東海北陸ブロック中央会会長会議」が岐阜市で開催された。この中で、「立ちあがろう中小企業、日本のために」ということを主張し、全国中央会にも提言している。全国の中小企業の経営者の方が少しでも同感していただけたら幸いである。中央会もこのような志をもって中小企業を応援していきたい。

また、専門的・戦略的支援を実施するため、重点的計画巡回指導や、組合等ブラッシュアップ専門家派遣事業を拡充し、より組合支援の強化を行う。

中央会は「組合のニーズに応えるパートナー・中央会～一歩踏み込んだ戦略支援へ～」をスローガンに一年間頑張っていく。多くの業種が集結している中央会の強みを活かして会員相互の交流機会の拡大を推進するとともに、新連携や農商工連携などの制度活用については後押ししていく。また、メルマガやホームページの充実を図り、会員に向けて、より新鮮で活用できる情報を提供していきたい。今年も積極的に中央会を活用して欲しい。

中央会の動き

金山総合駅で「ぎふ産品フェア」を開催

中央会は、11月22、23日に名古屋市の金山総合駅で「ぎふ産品フェアin金山総合駅」を開催した。同フェアは、組合・組合員企業が保有する地域資源を活用した産品等を県外に広くPRすることを目的に開催。「関の刃物」「美濃焼」「岐阜・西濃のアパレル」など、県内の地域資源に関連する14組合等(14小間)が商品のPR、販売を行った。

当日は多くの駅利用者がブースに立ち寄り産品等を眺めたり買い求めていた。出展者からは、「人の往来が多く、宣伝効果が高い」「多くの人に製品を見てもらえた」といった声があった。出展組合等は以下のとおり。

関連合刃物(協)、岐阜婦人子供服(工組)、揖斐庭石(協)、多治見陶磁器卸商業(協)、(協)土岐美濃焼卸センター、岐阜県刺繍(工組)、飛騨のさるぼぼ製造(協)、岐阜県製麺(協)、岐阜県米菓工業(協)、岐阜県酒造(協連)、飛騨美濃鶏ちゃん(協)、武芸川町特産品開発(企)、(協)日本ライン花木センター、岐阜県中小企業青年中央会



官公需フォーラムを開催

中央会と岐阜県建設関連業団体部会(杉浦匡介部会長)は、中小企業の官公需確保を支援するため、11月24日に「官公需フォーラム」をホテルグランヴェール岐山で開催し、部会員ら40人が参加した。

第1部の県担当者との懇談会では、杉浦部会長のあいさつに続き、県土整備部の高木善幸土木技監が「公共工事は、一昨年の政権交代から厳しい状況。22年予算は対前年比20%マイナス、23年度国の概算要求の国土交通省関連で、元気な日本復活予算を含め、かろうじて前年比並みで確保されている。県では、県土整備部で11億円を確保し、東海環状自動車道等の整備、災害など県民を守る防災対策、老朽化に対する対策、人命に直結する救急医療のための道路、孤立集落のための整備など、地域のためのキメ細かな対応を行っていきたい」とあいさつ。続いて、各部会員から出された10項目の要望事項に対し、県担当者から回答があった。

第2部の県議会幹部議員との懇談会では、安田謙三議長をはじめ、足立勝利(総務)、大野泰正(企画経済)、森正弘(厚生環境)、平岩正光(農林)、村下貴夫(土木)、佐藤武彦(教育警察)の各常任委員長、玉田和浩自由民主党岐阜

県連政調会長、部会顧問の猫田孝県議並びに中村慈県議に出席を賜り、各部会員から要望を行った。

出席議員の方々からの発言に続き、猫田部会顧問は「国の公共事業は減少しており、県の予算も厳しい状況である。建築工事は今後、大きな工事はほとんどないが、高等学校の全面建替えが出てくる。土木工事は下呂方面等で道路工事がある。地元業者への優先発注など、本日の要望について少しでも実現できるよう努力したい」と所見が述べられた。

東海北陸ブロック中央会会長会議を開催

東海北陸ブロック(愛知・岐阜・三重・富山・石川県)中央会の会長が参集して意見交換を行う「東海北陸ブロック中央会会長会議」を11月26日に岐阜都ホテルで開催した。

全国中央会の鶴田欣也会長、東海北陸ブロック各県中央会の会長らに加え、中部経済産業局の大関正道産業部長、岐阜県商工労働部の加藤謙治郎次長らが出席し、「中央会組織の現状及び今後のあり方」をテーマに、中央会の今後の役割や中小企業支援のあり方等についての意見交換を行った。

情報連絡員会議を開催

中央会は、12月1日にホテルグランヴェール岐山で「情報連絡員会議」を開催した。

会議では、東海財務局岐阜財務事務所の山口恒財務課長が「県内経済情勢」、県商工労働部中小企業課の林哲課長が「中小企業支援施策」、(株)商工中金岐阜支店の梅澤悟次長が「金融窓口から見た現在の景況動向」について、それぞれ説明、情報提供があった。

また、本会事務局より、全国大会で決議された要望事項について説明した後、製造業と非製造業に分かれて情報交換会を行った。情報連絡員の方々の発言要旨は以下のとおり。

【Aグループ(製造業)】

○岐阜県食肉事業(協連) 大角事務局長

飛騨牛など食肉の販売だけでは経営が厳しく、食肉惣菜(自家製コロッケ、メンチかつ等)も販売する組合員が増えている。組合員の約3割が後継者がいない。

○岐阜県菓子(工組) 小森理事長

ヒット商品や人気商品を作っている会社は売上を伸ばしている。菓子業界も後継者にうまくバトンタッチできなかった所は、倒産・廃業に追い込まれ、組合員の減少につながっている。

○岐阜県米菓工業(協) 小森事務局長

組合の課題は、あらゆる原材料であるもち米の確保。今年は猛暑でもち米の品質が悪く、最悪の出来であった。また、暑いとあられば売れないため、売上も悪かった。

○岐阜県製麺(協) 猪島事務局長

組合と学校給食会との契約により給食用麺を供給している組合員にとって組合は必要な組織だが、それ以外の組合員は組合の必要性、メリットを感じていないように思われる。

○岐阜県ニット(工組) 大植顧問

組合員の半数は後継者がおらず先行きが不安。元気な企業は、生産シフトを海外に移転している。今後、業界全体が良くなる兆しは見えない。

○岐阜婦人子供服(工組) 岩田専務理事

現在、国、県、市の支援を受け、販路拡大に重点に置き、国内・海外ともに展示会を中心とした事業を積極的に展開している。平成23年3月には、(財)岐阜県産業経済振興センターとJETROの支援のもと、上海に出展予定。今後の海外戦略として、海外市場を狙う組合があれば異業種が一緒に取り組む仕組みづくりを中央会で考えてほしい。

○岐阜県ソーイング(協) 奥田理事長

中国の現地工場の生産が不安定で、賃金の上昇だけでなく人が集まらず、ラインの稼働率が悪化している。そのため、平成22年6月頃から急に、国内の工場に小ロットだが受注が増え、加工賃も多少上がってきた。

○長良川ウッド(協) 牛丸総務部長

取引先の工務店に元気がなく苦勞している。現在、工務店と連携し、住宅を建てるエンドユーザーに対し、長良杉を知ってもらう「森の見学ツアー」を行っている。

○美濃和紙ブランド(協) 高田事務局長

前年度末に地域団体商標「美濃和紙」を取得。本物の美濃和紙を周知してブランドの地位を高めたい。現在、海外進出に向けて、経済産業省のJAPANブランド育成支援事業を活用し、ロシアとフランスでの展示会への出展に取り組んでいる。

○丸重製紙(企) 太田理事工場長

現在、仕事量よりも労働者過多の状況だが、60歳定年後の高年齢雇用給付金に頼りながら雇用確保に努めている。また、世代交代の時期に入っており、今まで以上に小ロットに対応しながら新製品開発に挑戦している。

○岐阜県プラスチック(工組) 大塚事務局長

県内には700~750程のプラスチック製造事業者がいると思うが、組合の存在を知らない事業者が多く、また組合からその事業者を探し出す手段もない。「組合はこういうことをやっているから加入してくれ」と言える事業を確立しなければ、組合員は増えないと思う。

○岐阜県石灰工業(協) 廣田専務理事

課題は、高炉から出る温暖化対策と、鉄鋼依存が大きいこと、それ以外の新たな販路開拓である。

○岐阜県生コンクリート(工組) 尾関総務部長

生コンの年間出荷量は、ピーク時の平成2年に2億m³だ

ったが、この20年間で半減。しかし、工場数は減っておらず、採算が合わない工場が増えている。今後、公共事業、出荷量の増加が見込めないため、工場の集約化が課題。

○岐阜県砂利(協) 伊原監事

骨材の出荷量はピークであった平成2年の約23%まで落ち込んでいる。年々10~20%ずつ出荷量が減少しており、需要減と採算割れでとても厳しい。

○岐阜県砕石(工組) 高井事務局長

全国ベースで、ピークであった平成2年に4億6千万tの出荷量があったが、平成22年には1億7千万tと、約63%減少。岐阜県は更にひどい状況。行政には予算をかけない中小企業支援に取り組んでほしい。例えば、3年に一度の許認可の更新を6年に一度にするなど。

○岐阜県鋳物工業(協) 浅野事務局長

10、11月にレアアースの入手不安があったが、現在は落ち着いている。円高による大手企業の海外進出により、鋳物も現地調達になることを懸念。現在、鋳物を製造する上で発生する砂の処理に困っており、行政の支援を求めたい。

○(協)岐阜県刃物会館 山藤専務理事

業界は円高問題により採算が合わず、国内需要もデフレの影響で厳しい。3年程前に「関の刃物」で地域団体商標に登録。昨年3月には中国でも商標登録し、上海万博、上海の物産展等に出展した。

○岐阜県金属工業団地(協) 小沢専務理事

リーマンショック以降は散々だったが、昨年1月から共同受電の使用量は前年同月比でプラスに転じ、6月からはプラス20%以上で推移。しかし、10月以降は徐々に低下し始め、その理由の1つは自動車関係の減産である。

○岐阜県可児工業団地(協) 藤岡専務理事

共同受電の利用は、最盛期の85%まで回復してきたが、今後の見通しは不透明。円高だと品質が良くても、海外製品との価格競争に飲み込まれてしまうため、採算的には厳しくなる。行政に対し「貿易取引における為替の安定化」、「雇用を支える中小企業の税制優遇」を要望。

○岐阜県金型(工組) 伊富貴専務取締役(大垣精工(株))

金型の受注単価が急速に下がっており、全国的に金型企業の倒産が増えている。今後は海外(東南アジア)では製造できないような、品質を含めた特色ある金型製品を作らなければ生き残れない。

○川崎岐阜(協) 市原専務理事

ボーイング777や787、防衛省の関係でCX、PXがスタートし、仕事量は昨年の2割増。しかし価格競争が激しく、新興国では日本価格の約半分で航空機部品が作れるため、いかに国内で安く作れるかコストダウンを図る改善活動を行っている。

【Bグループ(非製造業)】

○(協)土岐美濃焼卸センター 木村事務局長

組合員の中では、卸売業から小売業への業態の拡大、ネット販売などの販売方法を模索中。販路開拓のため、5月に中国(上海)での見本市に出展し、反響は良かった。現地

への進出(販売)における課題がみえてきたため、専門家のアドバイス等も受け、引き続き取り組んでいきたい。

○岐阜県機械金属商業(協) 服部理事長

岐阜が日本の真ん中にあるため、名古屋はもちろん、関西方面からの参入もあり、当地域の市場競争は更に激化していると言っている。その他、円高の進行と在庫の値下がり傾向が課題。

○岐阜県眼鏡商業(協) 堀江副理事長

「医療器具」としてのメガネ販売を行う組合員の支援のため、岐阜眼鏡士制度の運営、組合員従業員の人材育成(眼鏡士取得支援)を重要な事業として位置付け、引き続き取り組んでいく。

○岐阜県電器(商組) 森事務局長

家電エコポイント制度により、今年度の3月までは、非常に恵まれた経済環境にある。今後、地デジ関連商品に代わる新しい販促商品を見つけるため、また、業界の方向性を模索するための勉強会を実施する。

○岐阜市商店街(振連) 古川理事長

昨年度から、岐阜産の食べ物でまちおこしに取り組み、組合員の飲食業者にお客が来るようになった。平成23年4月からは、商店街の周辺地域とそこに住む高齢者、買い物弱者向けの宅配サービスを行い、商店街の利用頻度を上げたい。

○岐阜県自動車車体整備(協) 脇原事務員

組合員においては「環境」「安全」「品質」への投資が求められている。塗装の仕事は減っていないが、環境等への対策のための設備投資に費用が高み、利益が打ち消される状況。

○岐阜県長良川温泉旅館(協) 橋本部長

平成24年に清流国体が行われるが、競技によっては長良川の花火と時期が重なるため、当組合としては協力したいが、花火客の宿泊予約にも応えたいといった悩ましい状況にある。また、鶺鴒観光客を断ることも難しい。

○飛騨高山旅館ホテル(協) 中畑事務長

現在、日本人観光客の数は減少しているが、外国人は増加。宿泊予約の方法はインターネットが一般的になりつつある。組合でも宿泊予約サイトを開設しているが利用数は少なく、大手旅行情報サイトによる検索・情報収集・予約が圧倒的。

○岐阜県飲食(生衛) 牧野専務理事

平成23年6月に全国大会を高山で開催する。大会会場では県名産品の物産ブースを60店ほど予定しており、食品関連の製造業他、組合の方にもご協力いただきたい。

○岐阜県広告美術業(協) 小菅副理事長

清流国体のPR広告(看板等)について、積極的に地元企業へ仕事を発注されるよう岐阜県に陳情している。組合では委員会を組織するなど対策を講じているが、なかなか難しいようである。中央会からの支援も期待する。

○岐阜県建築設計監理(協) 加藤事務局長

特殊建築物所有者に対して、国から3年ごとの定期調査報告を行うよう、建築基準法が改正された。この調査の

業務委託を組合として受託していく。昨年度より、着実に受注実績を積み、国・県などに組合を認知してもらうよう努めている。

○岐阜県電気工事業(工組) 丹羽事務局長

太陽光発電機器の設置や電気自動車の充電施設に関する仕事など、新規事業が出てきている。電気自動車の充電施設の設置に重点的に取り組んでいる。組合では平成23年10月に岐阜県で全国大会を開催する予定。

○物流ネットワーク中部(協) 寺町専務理事兼事務局長

新たなサービスや仕組みを作り出すことに取り組んでいく。平成22年11月に、上部団体の働きかけから、新たな商品の運送業務(特定信書便事業の関連)について、上部団体を通じて取扱うことが可能となり、団体としては初めてである。

○赤帽岐阜県軽自動車運送(協) 矢野理事長

県内には大手運輸業者も多数存在するが、大手では対応できないような仕事が組合に回ってくる。機動力が組合、組合員の“売り”であり、手間のかかる仕事や儲からない仕事など、ぜひ御用命をいただきたい。

『第62回中小企業団体全国大会』(奈良県)・決議事項

11月18日に奈良県で開催された「第62回中小企業団体全国大会」での14項目の決議事項は以下のとおり。詳しくは、全国中央会ホームページよりご覧ください。
(<http://www.chuokai.or.jp/event/event-01.htm>)

- I デフレ不況の克服、連携組織対策等中小企業対策の強化
 - 1. 円高、デフレ脱却のための経済対策の実行
 - 2. 中小企業憲章を具体化する中小企業対策の拡充
 - 3. 組合活動への支援の拡充、中央会の支援体制の強化
- II 中小企業の生産性の向上
 - 〈II-1. 労働〉
 - 1. 中小企業に配慮した雇用対策の推進
 - 2. 社会保障制度等の見直し
 - 3. 中小企業に配慮した労働・教育政策の推進
 - 〈II-2. 情報〉
 - 1. 中小企業のIT化支援の強化・拡充
 - 〈II-3. 商業〉
 - 1. 商店街及び中小小売商業の活性化支援の拡充
 - 2. 中小流通業・サービス業振興対策の強化
 - 〈II-4. 税制〉
 - 1. 中小企業に新たな成長を促す税制支援の強化
- III 中小企業の経営の安定化
 - 〈III-1. 金融〉
 - 1. 資金繰り対策の継続及び中小企業金融機能の拡充
 - 〈III-2. 公正な競争環境の整備〉
 - 1. 優越的地位の濫用・不当販売等への積極的対処
 - 2. 下請法の整備・機能強化と取引適正化の徹底
 - 3. 中小企業と官公需適格組合の受注機会の増大

組合等の動き

岐阜流通センター協同組合連合会 (辻正会長)

物故者法要で
故人をしのぶ

岐阜流通センター（協連）は、12月6日に岐阜市の瑞龍寺で物故者法要を営んだ。この法要は、連合会が35年を迎え、節目の年にあたることから執り行われたもので、法要に先立ち同寺で3日間接心し、流通団地内で托鉢を行った辻会長は「幾多の経済不況に遭ったが、厳しい時代を乗り越えられたのは諸先輩方のおかげ」とあいさつした。

川崎岐阜協同組合 (福西紀雄理事長)

創立60周年
記念式典を開催

川崎岐阜協同組合は、12月8日に創立60周年記念式典を岐阜グランドホテルで開催し、組合員や来賓など170人が出席した。福西理事長は、開会にあたり「永年培った知恵と技術と組織力を礎に、ものづくり集団としてこれからの時代をしっかりと乗り切り、大空に映える航空機のように大きく羽ばたいていきたい」とあいさつした。また、川崎重工業（株）及び（株）商工組合中央金庫それぞれより組合に対し、永年にわたる協力への感謝の意を表して感謝状が贈呈された。



奥美濃カレー協同組合 (滝下一徳理事長)

「奥美濃カレー」
地域団体商標登録

奥美濃カレー協同組合は、「奥美濃カレー」を地域団体商標に登録しようと特許庁に出願していたが、平成22年12月17日に登録査定された。同組合は、郡上市で奥美濃カレーを提供している事業者で組織されており、イベントへの出展やグッズ販売といった共同宣伝事業を実施し、奥美濃カレーのPRに努めている。地域団体商標への登録も組合活動の一つとして取り組んできており、滝下理事長は「昨今、B級グルメにまがいものが増える中、念願の地域団体商標に登録できたことは非常に嬉しい。イメージダウン防止とブランド力強化につながるだろう。これを機に、より一層品質保持・管理に努めたい」と抱負を述べた。

岐阜県陶磁器工業協同組合連合会 (加藤半一郎理事長)

東濃各地で
新春見本市を開催

岐阜県陶磁器工業（協連）傘下の14組合は、1月6日を皮切りに、新春恒例の「2011年新春見本市」を9日まで開催した。6、7日は多治見市のセラミックパークMINOで笠原、滝呂、市之倉、高田の各陶磁器工業（協）、土岐市のセラトピア土岐で土岐津、泉、肥田、土岐津西部、下石、妻木の各陶磁器工業（協）と、土岐市立駄知体育館で駄知陶磁器工業（協）、7、8日は瑞浪市の市総合文化センターで瑞浪、恵那の各陶磁器工業（協）、8、9日は土岐市的美濃焼伝統産業会館で美濃焼伝統工芸品（協）がそれぞれ開催。各メーカーは新しいデザインや品質にこだわった製品や、結露しないカップや断熱性に優れた器など技術力を発揮した製品を展示し、地元産地卸商社等に売り込み、PRを行っていた。

岐阜県中小企業応援センター ご活用ください。

農商工連携、ものづくり支援、事業承継、地域資源活用、経営課題など、組合等及び組合員企業の課題解決にご活用いただけます。お気軽にご相談ください。

なお、当センターは本年3月末をもって終了(専門家派遣は2月末に終了)します。ご相談はお早めをお願いいたします。

【お問い合わせ】組織支援チーム TEL:058-277-1101

組合等ブラッシュアップ 専門家派遣事業をご活用ください。

新商品・新技術開発、販路開拓など、組合等の諸課題の解決に対して専門家を派遣いたします。専門家への謝金は本会が負担します。ぜひご活用ください。

【お問い合わせ】

組織支援チーム TEL:058-277-1101

東濃支所だより



地域ブランド「山岡細寒天」～伝統と暮らしの結晶～

岐阜県の南東部に位置し、面積の7割が森林の山間寒冷地にある恵那市山岡町では、海藻の天草（テングサ）を原料にした水産加工品の「細寒天」の製造が盛んで、全国シェアの80%を占める一大産地です。山岡町で生産される細寒天は、2006年に商標法改正に伴いスタートした地域ブランドに「山岡細寒天」として認定を受けました。

この地域は、冬になると昼夜の寒暖の差が激しく、朝の冷え込みと日中の晴天、加えて凍結・乾燥できる広大な土地が寒天づくりに好条件とされており、このため山岡の寒天づくりは、昭和初期に農家の副業として始まりました。

この山岡細寒天の生産、PRに大きく貢献しているのが岐阜県寒天水産工業組合です。現在の組合員は11名で、そのうち半分は通年で寒天を生産できる工業設備を持っていますが、半分は冬季の寒気を活かした昔ながらの天然細寒天づくりを行っています。組合員は、現在でも天草100%にこだわり続けて寒天を生産しています。

寒天は低カロリーで食物繊維含有量が多いため、近年の健康志向にもマッチし、ヘルシーサラダや寒天ずし等の寒天料理やコーヒーゼリー等にも使われています。組合では、山岡細寒天を使ったお料理コンテストのほか、寒天の一層の品質向上を目的とした寒天品評会を永年にわたり開催するなど、山岡細寒天のPRや需要開拓などに積極的に取り組んでいます。

こうした取り組みを続けてきたことと、従来から公的機関による厳しい品質検査を受けてきたことにより、今では、全国的にも有名な老舗の和菓子店が「山岡細寒天をお菓子の材料に使いたい」と、山岡細寒天を指名して直接注文があるほどです。

中嶋一昇理事長は、「これからも組合員の努力により、さらなる品質向上と後継者の育成に努めていきたい」と話しており、山岡細寒天づくりの将来を描いています。



青年中央会通信

「ぎふ産品フェア」に出展！

県青年中央会は、県中央会主催の「ぎふ産品フェア in 金山総合駅」に出展した。出展ブースでは、青年中央会の「ビジネス出会い系」事業で企画した「飛騨牛入りカレーパン『黄金の信長パン』」（1個200円）を販売したほか、県テント・シート（工組）、県製本紙工（工組）、県眼鏡商業（協）の各青年部・青年部員から自慢の商品が出品され、大勢の人で賑わった。

青年中央会が企画した「黄金の信長パン」は、青年中央会の委員会の一つである「ビジネス情報委員会」が中心となり開発したもので、会員青年部同士でコラボレーションした商品が作れないかと検討し、県学校給食パン米飯（協）と県食肉事業（協連）の各青年部員が協力して、地域資源の飛騨牛が入ったカレーパンの商品化を提案した。その後、委員会で試食会等を重ね、岐阜県産の米粉（ハツシモ）3%を生地に練り込むなど工夫し、カレーパンを完成させた。

パンのパッケージ（外袋）は、県広告美術業（協）青年部員が協力してデザインし、県舞台設備管理事業（協）青年部員は、販促用のBGMを作詞・作曲した。また、フェア当日には、委員会のメンバーをはじめ、他の青年部員も販売や試食などをサポートした。カレーパンは2日間で約630個を販売。委員会の林委員長（県舞台設備管理事業(協)青年部）は「来年度もイベント等への出展を検討していきたい」と抱負を述べた。



岐阜県中小企業青年中央会 会員募集中！

青年中央会についての詳細や加入等については、中央会・国際チーム（058-277-1102）までご連絡ください。

景況レポート

平成22年
12月末
調査
(前年同月比)

中小企業団体情報
連絡員70名(うち
70名分の集計)の
情報連絡票から

〔I〕12月の特色

◆景況感DI値 6ポイント改善
～マイナス40～

〔II〕12月の概況

当月の景気動向を前年同月比の景況感DI値で見ると、好転8、悪化4でDI値はマイナス40となり、前月のマイナス46に対し、6ポイント改善した。業種別で見ると、製造業はマイナス33(前月比+12)、非製造業はマイナス47(前月比±0)となっており、製造業のマイナス幅が大幅に縮小した。

なお、景況感が好転した業種は6業種あり、米菓、石灰、砂利生産、輸送用機器、機械・工具販売、産直住宅(東白川地区)となっており、景況感が悪化した業種は34業種となっている。

主要な調査項目を見ていくと、売上高DI値はマイナス22で前月比1ポイントの悪化、販売価格DI値はマイナス31で前月比2ポイントの改善、収益状況DI値はマイナス44で前月比4ポイントの改善、資金繰りDI値はマイナス30で前月比3ポイントの改善となった。

景況感としては、10月末調査から2カ月続けて改善の数値となっているが、依然、「過当競争が激しくなっている」(紙加工品)、「円高による海外輸入製品との競合激化」(タイル)、「グローバルな価格競争が熾烈になっている」(輸送用機器)、「他業種の参入により低価格競争が発生」(管設備工事)など、受注競争が厳しくなり、取引・受注環境が悪化しているとのコメントの他、当月は、「年末需要を期待するも例年に増して販売不振であった」(食肉(国産))、「年々、年末の賑わいが無くなっている」(商店街(大垣))、「お歳暮の配達はや年少なくなっている」(軽運送)など、季節的要因としての年末需要は少なかった報告も寄せられている。

<主な調査項目での動向>

売上高の動向は、前年同月比で増加20、減少42でDI値はマイナス22となり、前月のマイナス21に対し、1ポイントの悪化となった。

売上が増加した業種は14業種あり、米菓、ニット工業、東濃ひのき、機械すき和紙、石灰、生コンクリート、砂利生産、鋳物、可児工業団地、輸送用機器、機械・工具販売、生花販売、クリーニング、理容・美容業となっている。

売上が減少した業種は30業種あり、特に紙・紙加工品、建設業、運輸業に減少が多い。

販売価格の動向は前年同月比で上昇7、低下38でDI値はマイナス31となり、前月のマイナス33に対し、2ポイントの改善となった。

販売価格が上昇した業種は5業種あり、機械・工具販売、青果販売、水産物商業、石油製品販売、生花販売となっている。販売価格が低下した業種は27業種あり、特に紙・加工品、一般機械、卸売業に低下が多い。

収益状況の動向は、前年同月比で好転10、悪化54でDI値はマイナス44となり、前月のマイナス48に対し、4ポイントの改善となった。

しかし、「施工金額の低価格化に加え資材価格が上昇し、採算割れが大きくなりつつある」(建築板金)、「円高の影響で採算が悪化」(刃物等金属製品(内需))、「消費不況に加え、デフレが更に進行し、売上・利益ともに低下」(婦人・子供服)など、依然、収益確保に苦慮しているとのコメントが多く寄せられている。

収益状況が好転した業種は7業種あり、米菓、プラスチック、石灰、砂利生産、可児工業団地、輸送用機器、生花販売である。

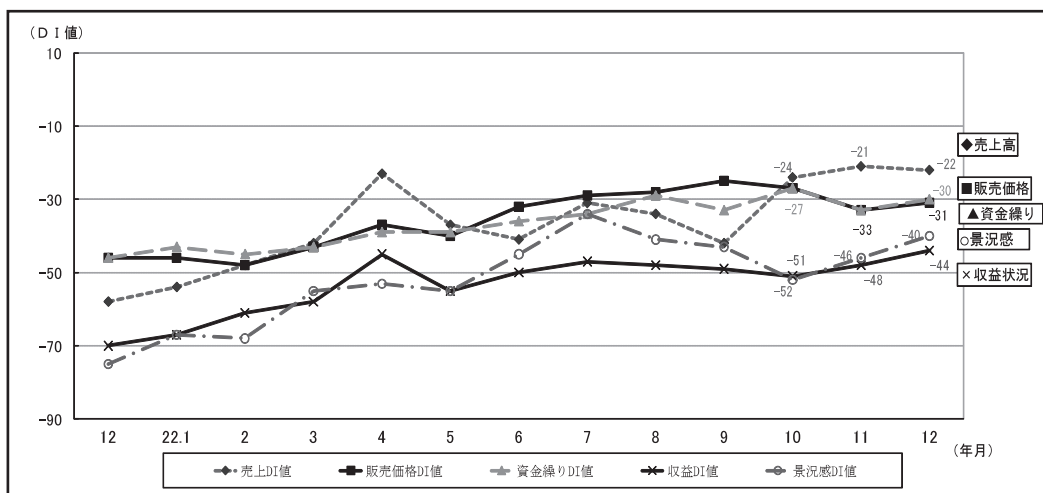
収益状況が悪化した業種は38業種あり、特に紙・紙加工品、卸売業、小売業、サービス業、建設業、運輸業に多い。

資金繰りの動向は、前年同月比で好転4、悪化34でDI値はマイナス30となり、前月のマイナス33に対し、3ポイントの改善となった。

資金繰りが好転した業種は3業種あり、プラスチック、輸送用機器、生花販売である。

資金繰りが悪化した業種は24業種となり、特に紙・紙加工品、建設業、運輸業に多い。

売上高、販売価格、収益動向、資金繰り、景況動向 DI 値の推移(前年同月比)



県内中小企業主要業種の景気動向

(12月末調査)

製造業		前年同月比						
区分	調査項目 業種	売上高	販売価格	収益状況	資金繰り	雇用人員	景況感	
								売上高
食料品	牛乳・乳製品	△	▲	▲	△	△	▲	
	食肉(国産)	▲	▲	▲	△	△	▲	
	菓子	△	△	△	△	△	△	
	米	○	△	○	△	○	○	
	製麺	△	△	△	△	○	△	
繊維・同製品	糸	△	△	△	△	△	△	
	ニット工業物	○	△	△	△	△	▲	
	毛織物	△	△	△	▲	▲	△	
	合成繊維織物	△	△	△	△	△	△	
	メンズアパレル	▲	△	▲	△	△	△	
	婦人・子供服縫製(既製服)	▲	▲	▲	△	△	▲	
木材・木製品	製材	△	△	△	△	△	△	
	銘木	▲	▲	▲	△	△	△	
	製材・素材生産	△	△	△	△	△	△	
紙紙加工品	機械すき和紙	○	▲	△	△	△	△	
	特殊紙	▲	△	▲	▲	△	▲	
	紙加工品	▲	▲	▲	▲	△	▲	
印刷	印刷	▲	▲	▲	▲	△	▲	
化学ゴム	プラスチック	△	△	○	○	△	△	
窯業・土石	陶磁器(工業)	▲	△	▲	▲	△	▲	
	タイル	△	▲	▲	△	△	▲	
	窯業原料	△	△	△	△	▲	△	
	石灰	○	△	○	△	△	○	
	生コンクリート	○	△	▲	▲	▲	▲	
	砂利生産	○	△	○	△	△	○	
鉄鋼・金属	砕石生産	▲	▲	▲	▲	▲	▲	
	鋳物	○	▲	▲	△	○	△	
	刃物等金属製品(輸出)	▲	▲	▲	△	△	▲	
	刃物等金属製品(内需)	△	△	△	△	△	▲	
一般機械	メッキ	△	△	△	△	△	△	
	県金属工業団地	△	▲	△	△	△	▲	
	可児工業団地	○	▲	○	△	△	△	
輸送用機器	金型	△	△	△	△	△	▲	
	輸送用機器	○	△	○	○	○	○	
非製造業		前年同月比						
区分	調査項目 業種	売上高	販売価格	収益状況	資金繰り	雇用人員	景況感	
								売上高
卸売業	電設資材卸	▲	▲	▲	▲	▲	▲	
	陶磁器産地卸	△	▲	▲	△	▲	▲	
	機械・工具販売	○	○	△	△	△	○	
小売業	青果販売	△	○	△	△	△	△	
	水産物商業	▲	○	▲	▲	△	▲	
	家電機器販売	▲	▲	▲	△	△	▲	
	メガネ販売	△	△	▲	▲	△	△	
	中古自動車販売	▲	△	▲	▲	▲	▲	
	石油製品販売	△	○	▲	△	△	▲	
	共同店舗(飛騨)	▲	▲	▲	▲	▲	▲	
商店街	生花販売	○	○	○	○	△	△	
	岐阜市商店街	△	△	△	△	△	△	
	大垣市商店街	▲	▲	▲	▲	△	▲	
サービス業	高山市商店街	△	△	△	△	△	△	
	自動車車体整備	△	△	△	△	△	△	
	長良川畔旅館	△	▲	▲	△	△	▲	
	下呂温泉旅館	▲	△	▲	△	△	▲	
	高山旅館	▲	△	▲	▲	△	▲	
	クリーニング	○	△	△	△	△	△	
	広告美術	▲	▲	▲	△	△	△	
	飲食業	▲	△	▲	△	△	△	
	ビルメンテナンス	▲	▲	▲	▲	▲	▲	
	理容・美容業	○	△	△	△	△	△	
建設業	土木(岐阜地区)	▲	△	▲	▲	▲	▲	
	土木(飛騨地区)	▲	▲	▲	▲	▲	▲	
	建築設計	▲	▲	▲	▲	▲	▲	
	鉄構造物	△	▲	▲	▲	△	▲	
	電気工事	▲	△	△	△	△	△	
	管設備工事	▲	▲	△	▲	△	△	
	建築板金	△	△	▲	▲	△	△	
	木製建具	▲	△	▲	△	△	△	
	産直住宅(東白川地区)	△	△	△	△	○	○	
	運輸業	貨物運送(県域)	▲	▲	▲	▲	▲	▲
		軽運送	▲	△	▲	▲	▲	▲

凡例 ○: [増加]、[上昇]、[好転]
 △: [不変]
 ▲: [減少]、[下降]、[悪化]

※中小企業団体情報連絡員70名(うち70名分の集計)を対象にまとめたものです。

頑張っている仲間達

中央会の会員組合を紹介します！



本会は、多種多様な業種・業態の組合等が会員となっており、これが本会の特徴でもあります。各組合がその特徴を活かし日々活動が続けていますので、皆様の仲間を紹介します。

岐阜県自転車軽自動車商協同組合

■理事長:堀 耕二 ■組合員数:299人 ■設立年月日:昭和32年9月26日
■住所:岐阜市吉津町2丁目20番地の2 ■TEL:058-265-6556 ■FAX:058-265-6558

☆堀理事長に聞きました☆

当組合は、自転車、原動機付自転車、軽自動車の販売・整備を行う事業者で設立され、共同購買事業、防犯登録事業などを実施しています。近年、自転車の販売はホームセンター等が大半を占め、低価格競争も激しくなるなど、組合員は厳しい経営環境に置かれています。

そこで組合では、組合創立50周年を迎えた平成18年度に、その記念事業として、組合で自転車の需要を取りまとめ一括購入し、自転車メーカーの協力も得て通常よりも安い価格で組合員に販売する共同購買を実施。これにより、組合員の自転車仕入コストを抑えることができました。これを平成20年度まで実施しました。そして平成21、22年度にはタイヤチューブの共同購買、さらに22年7月には自転車盗難対策キャンペーンとして馬蹄型後輪ロックを組合員に無償配布し、自転車の盗難防止対策として利用者に低価格で販売しました。

また、自転車利用者に安心・安全を提供するため、岐阜県警、(財)岐阜県交通安全協会の協力を得て、組合員が県下の小・中・高校等を訪問し、ボランティアで自転車の安全点検を実施するなど、社会貢献活動にも積極的に取り組んでいます。

堀理事長は、「組合執行部や事業の運営委員会が知恵を出し合い、組合員のための事業に取り組んできた。そのために組合事務局も頑張っている。今後も、「組合に加入していて良かった」と組合員に思っていただけのように、全力で取り組んでいきたい」と抱負を語っています。



中学校での自転車安全点検

岐阜県しょうゆ協業組合

■理事長:青木利夫 ■組合員数:12人 ■設立年月日:昭和47年9月2日
■住所:恵那市武並町竹折451番地 ■TEL:0573-28-2311 ■FAX:0573-28-2964

☆青木理事長に聞きました☆

当組合は、昭和47年醤油製造業の構造改善計画の一環として、恵那を中心とする東濃地域の味噌・醤油製造業者14名が醤油製造のみの一部協業により設立されました。

設立当初に、高度化資金により年間2,000kℓの生産能力を持つ醤油製造設備を導入しました。設備は全自動・省力化されており、最近では、ISO9000を取得し、品質の安定化など、品質管理面にも力を入れています。

伝統と技術を集約した工場では、本醸造の「けんしょうゆ」を一貫生産しており、このしょうゆのコクのある味わいは消費者からもご愛顧いただいています。

組合での醤油の年間売上高は約7億円で、現在の生産量は、組合設立時の約5倍に増加しました。平成12年からは、この工場生産する丸大豆醤油は遺伝子組み換えでない大豆の使用に切り換え、安心・安全な醤油の製造を行っています。

また、組合では、ご要望により単独県産の大豆、小麦を使用した国産丸大豆醤油の生産にも対応するほか、南米アルゼンチン産の大豆、岐阜県産小麦、内蒙古産の天然岩塩をミックスした「こだわり醤油」も生産しており、「良い製品をしっかりと楽しく」をモットーに製品づくりに励んでいます。





「都市鉱山に大きな可能性あり」

株式会社共立総合研究所 調査部 主任研究員 河村 宏明

昨年は、レアメタル関連のニュースをよく目にした。特に、中国がレアメタルの一種「レアース」の輸出を一時停止したことなど、外交戦略にレアメタルが利用されることが問題となっている。

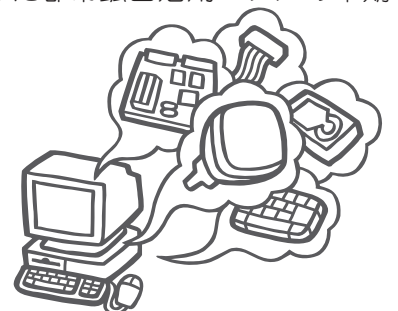
レアメタルとは、何らかの理由で「レア」な金属鉱物のことであり、日本では経済産業省が31鉱種47元素をレアメタルとして定義している。レアメタルは、普段の生活ではまず意識することはないだろうが、「超伝導性」「強磁性」など様々な特性があるため、携帯電話やパソコン等のハイテク製品には欠かすことができない。そのため、以前から「産業のビタミン」と呼ばれ、その重要性は認識されていたが、今や「産業の生命線」になったと言っても過言ではない。特に、日本のような加工貿易、ハイテク立国にとってその存在意義は大きい。そのため、レアメタルの安定確保が必要不可欠なのである。

しかし、新興国の経済成長、環境マーケットの拡大などの要因から大幅な需要増が間違いなく、それに供給が対応できるかどうかは著しく不透明である。埋蔵量が少ない、新規鉱山開発には時間がかかる等の問題もあるものの、一番の懸念材料は冒頭に述べたような資源ナショナリズムの台頭であろう。レアメタルの埋蔵量と生産量を見ると、上位5カ国で90%以上のシェアとなるものが多いため、資源国の思惑や情勢によって供給量が大きく左右される。特に、最近は経済が成長している資源国が、自国での使用を優先させてその分輸出を抑制したり、資源を外交カードとして利用したりする資源ナショナリズムの動きが目立ってきている。

そこで、最近注目されているのが「都市鉱山」である。都市鉱山とは、私たちの手元にある携帯電話やパソコンなどに含まれているレアメタル等の各種金属を「鉱山」に見立てたものである。独立行政法人物質・材料研究機構の計算によると、

日本の都市鉱山は、金が6,800 tと世界埋蔵量（地下資源）の約16.4%、銀が60,000 tで約22.4%、インジウムが1,700 tと約15.5%など、多数の金属が豊富に存在しているという結果となった。また、この都市鉱山埋蔵量を世界の埋蔵量国別順位に当てはめてみると、金、銀が1位、銅、インジウムが2位、アンチモン、白金族、タンタルが3位となるなど、世界の主要埋蔵国と比べても遜色ない。このように、日本には資源がないというのは地下資源の話であり、地上資源に目を向けると、「資源大国」と言える。その資源を寝かせたままにせず、積極的に活用していくことが求められる。

都市鉱山の活用は、リサイクルによって推進される。また、来る資源循環型社会においてリサイクルの果たす役割は非常に大きい。しかし、コスト面や技術面においてまだ超えるべきハードルは高い。そのため、現在、国が全国7地域で「使用済み小型家電回収モデル事業」に取り組んでいたり、あるいは岐阜県においても産学官連携のレアメタル資源再生技術研究会が立ち上げられるなど、都市鉱山活用への動きが活発化してきている。リサイクルは、日本だけでなく、今後世界中でますます重要となってくるため、今後大きな市場となる可能性が高い。そのような中で、いち早く日本がリサイクルの社会システムを確立できれば、その日本システムを世界に輸出することもできるし、リサイクル産業の視点を製造業などにフィードバックしていけば、製造業の競争力もアップする。社会システムを含めた都市鉱山活用モデルの早期確立に期待したい。



全国の先進組合事例を紹介!!

日田梨協同組合

輸出商社・現地流通と組んだ梨の商品開発と海外販路開拓

【背景と目的】

日田梨生産者はこれまでJ Aを通じて台湾向け輸出の取り組みを続けてきた。しかし、輸出は世界的景気後退、安価な韓国産の影響により、中秋節や春節などのイベント需要が主になり、非常に厳しい状況になった。そこで、生産者自らが設立した協同組合は、輸出商社、現地流通との連携を強化し、これまで流通業者や消費地任せであった販売を、産地自らが製品の良さをきちんと伝え、ファンの拡大を図る戦略的な提案型の輸出を行い、台湾市場における梨の輸出の安定化を図ることを目的にマーケティング調査、商品づくりの事業に取り組んだ。

【事業・活動の内容】

マーケティング調査は台湾流通のプロである商社と連携し、直接的な販売を前提とした需要調査（アイテム・品質・価格帯）を店舗形態（百貨店・量販店）ごとに取り組んだ。また、販売の手段としての販促活動も台湾の求めるものを調査した。さらに、上海で事業展開を行う食品商社と連携し、上海でも同様の展開を行った。商品づくりは商品をアイテムとサービスの二方向から検証し、マーケティング結果に合わせた商品・販促を展開することとした。検証については台湾の慣習である秋の中秋節での実践結果を調査・検証し、冬の春節で再度実践・検証する。

【成果】

平成21年6月より戦略的な輸出に取り組むこととし、輸

出業者への窓口1本化を行った。販売促進活動は商談段階から当組合も参画することとし、7月から8月にかけてマーケティング調査を行った。輸出業者との資材等の作成打ち合わせの後、台湾業社との商談に同行し、非常に厳しい中で受注確保を図った（5社との取引決定）。

一方、商品づくりはJ A梨部会生産部を中心にハウス栽培による出荷の前進化、台湾の登録基準に合わせた輸出向けの防除基準の策定・実施、出荷前に残留農薬の分析を個別に実施する等を行った。台湾バイヤーを招聘し、課題を検証、春節の対応について検討し、1月から2月に台湾での春節プロモーションを計画している。

組合ができて間もないが、組合員自ら販売に関与することで増収を図れることになるので、本事業の成果については期待をしている。本事業の成果は大分県産農産物を安心して台湾に輸出できることにつながり、地域活性化に貢献できるため、県の期待も大きい。

ポイント	農協の梨部会として高品質梨を台湾へ輸出するが、世界的不況、安価な韓国産梨の影響で売上減少。生産者自ら設立した協同組合が、商社、現地流通と組み、梨の販売促進に挑む。		
住所	大分県日田市天神町535-1		
URL	http://hitanashi.com/		
電話	0973-26-3520	FAX	0973-26-3525
組合員	115人	設立	平成21年4月

博多織工業組合

博多織織元がヨーロッパでの販路拡大事業に挑戦

【背景と目的】

10数年前から博多織のドレス、バッグ、小物などの開発に着手し、その後の改良により数多くの格調高い製品が生まれているものの、まだその価値が広く認識されるに至っていない。

日本文化は、芸術や食の分野でヨーロッパ人の間に関心が高まっている。そこで福岡の伝統工芸品もヨーロッパ人の間に大きな関心呼び起こすことが予想され、パリにおけるファッションショー開催に結びついた。

【事業・活動の内容】

平成20年10月、西日本新聞社と日本デザイナークラブの企画により、久留米絣とジョイントしてパリでファッションショーを開催した。博多織工業組合の参加組合員は、西村織物(株)、筑前織物(株)、岡崎陽氏である。

出品は帯、着物などに加えてドレスや小物類となった。特に博多織ドレスは10数年前から開発に取り組み完成度は高い。天然シルクの光沢あるドレスの美しさはフランスのバイヤーにもインパクトを与えて、ショーの終了後織元に引き合いも生じている。

【成果】

販路開拓を主要な目的としていたが、出展した織元へは、フランス企業からの引き合いが数件入っている。現在も商談続行中である。フランスでのファッションショーは国内でも大きく取り上げられ、博多織織元の新しい取り組みについて、知名度が向上し国内での販売にも良い影響を与えている。

一過性の取り組みに終わらせず、ヨーロッパのバイヤーに対して営業活動を継続することで、成果に結びつける必要がある。

ポイント	西日本新聞社、日本デザイナークラブとの共同企画で、久留米絣協同組合と協働してパリでファッションショーを開催		
住所	福岡県福岡市博多区博多駅南1丁目14番12号		
URL	http://www.hakataori.or.jp/		
電話	092-472-0761	FAX	092-472-1254
組合員	41人	設立	昭和34年5月

事務局 だよ！

中央会セミナーのご案内

「環境ビジネス支援セミナー」

中央会は、中小企業の実環境ビジネスへの取り組みを支援するための「環境ビジネス支援セミナー」(3回シリーズのうち第2回、第3回)を開催します。

《第2回・事例発表「事例に学ぶ！中小企業向け環境ビジネス」》

【日時】 2月17日(木) 13:30~15:30
 【会場】 ホテルグランヴェール岐山 5階
 【講師】 ①有限会社田宮製菓
 代表取締役 田宮恒司 氏
 ②株式会社おぎそ
 代表取締役会長 小木曾順務 氏

《第3回・視察「現場に学ぶ！環境ビジネスへの取り組み」》

【日時】 3月3日(木) 13:30~15:30
 【視察先】 協同組合エスウッド
 (各務原市須衛町7丁目)

お問い合わせは、広報チーム
 TEL058-277-1100まで。

「女性部等活動支援研修会」

中央会は、「Don't quit 女性経営者のチャレンジ精神を学ぶ」と題し、女性部等活動支援研修会を開催します。

講師には、老舗酒蔵の再建を手始めに、新しいイベントを企画・実行し、前例や常識にとらわれない発想と創造性等で企業経営において成功を取っている株式会社榊一市村酒造場のセラ・マリ・カミングス代表取締役を招き、経営者に必要なことは何かをお話いただきます。

【日時】 2月1日(火) 15:30~17:30
 【場所】 岐阜都ホテル 2階「漣」

お問い合わせは、組織支援チーム
 TEL058-277-1101まで。

最低賃金改定のお知らせ

岐阜労働局では、岐阜県最低賃金を時間額706円とする改正決定を平成22年9月17日に行い、10月17日より発効されています。

また、特定(産業別)賃金については、「電子部品・デバイス・電子回路、電気機械器具、情報通信機械器具製造業最低賃金」を時間額777円、「自動車・同附属品製造業最低賃金」を時間額815円、「航空機・同附属品製造業最低賃金」を時間額865円に改正する決定を行い、平成22年12月16日から発効となっています。また、「紡績業最低賃金」は平成22年12月16日限りで廃止されましたので、お知らせいたします。

詳しくは、岐阜労働局労働基準部 賃金室(058-245-8104)又は最寄りの労働基準監督署にお問い合わせください。

岐阜県中央会オーナーズプラン (団体扱)のご案内

中央会では、三井生命保険(株)の事業者向け生命保険「岐阜県中央会オーナーズプラン」を取扱っています。組合、組合員の方でご関心がございましたら、本会担当者と三井生命保険担当者が、内容等についてご説明にお伺いいたします。

【お問い合わせ】 広報チーム TEL:058-277-1100

今年も「花もち」を いただきました

高山市公設市場買受人協同組合(林利夫理事長)より、飛騨の正月を彩る「花もち」を寄贈いただきました。来会者の皆様にもご覧いただけるよう本会事務所に展示しております。

林理事長はじめ、組合役員、組合員の皆様にお礼申し上げます。



あけましておめでとうございます

昨年は、本会の事業運営に多大なご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。本年も何とぞよろしくお願い申し上げます。

中央会では、会員組合の皆様方の取り組みや活動など、より多くの情報を発信したいと考えております。本紙に掲載可能な組合活動などがございましたら、広報チームまで情報提供をお願い致します。

また、本紙「年賀広告」に多数のご協賛をいただき、誠にありがとうございます。

今後ともご協力いただきますとともに、組合員の皆様への情報提供などに本紙をご活用いただきますようお願い申し上げます。



中央会日誌



<11月21日~11月30日>

- 24日 官公需フォーラム(グランヴェール岐山)
- 26日 平成22年度東海北陸ブロック中央会会長会議(岐阜都ホテル)

<12月1日~12月31日>

- 1日 情報連絡員会議(グランヴェール岐山)
- 6日 岐阜流通センター(協連)物故者法要(瑞龍寺)
- 7日 岐阜中金会 経営者セミナー(ホテルパーク)
- 8日 川崎岐阜(協)創立60周年記念式典(岐阜グランドホテル)
- 13日 第5回技能実習生等受入適正化推進会議(グランヴェール岐山) 中小企業人材確保に向けた懇談会(県庁)
- 14日 地域経済情報交換会(県庁)
- 22日 第2回岐阜新卒者就職応援本部会議(岐阜労働局)

<1月1日~1月20日>

- 19日 岐阜県機械金属商業(協)設立40周年記念式典(岐阜会館)

「堅実」という言葉が何より好き。 そんなあなたの定期預金です。

個人向け新型定期預金「マイハーベスト」 安心のポイント

1 通常の預金よりも好金利*

原則として期限前解約できない代わりに、通常の定期預金（固定金利）よりも、有利な金利*をご提供します。

*弊金庫内の商品と比較した場合。

2 安全・確実に資産が増やせる

元本保証、預金保険の対象で、満期まで変わらない固定金利にてお預かりします。

3 ご計画に合わせて選べる期間

お客さまの資金計画に合わせて期間を1年、2年、3年からお選びいただけます。

こんな時代ですばらん。
コツコツがいすばらん。



どなたでもお預けいただける、安全・確実な定期預金をご用意しています。

個人向け新型定期預金

マイハーベスト

岐阜支店 〒500-8828 岐阜市若宮町9-16
TEL 058-263-9191

ホームページ <http://www.shokochukin.co.jp/>



人を思う。未来を思う。

商工中金

この広報紙は岐阜県からの助成を受けています。